

回答メール6号の「カワセミニュース」を見て、カワセミのいばしょをもっとくわしく知りたい、というハガキが来たよ！

Q:カワセミのいばしょをもっとくわしく教えてください。

カワセミは、平地～山地の川・池・湖にすんでいるよ。

水中にダイビングしてエサになる魚をつかまえるから、空中からでも水の中のように分かるような、きれいな水辺で見ることができよ。深さは20～30cmくらいで、流れのゆるやかな場所がカワセミのエサとり場だよ。

坂田悠綺さんは去年の12月と、今年の8月に上柳橋の近くでカワセミを見ているから、そこに行けばきっとカワセミを観察できるよ。ただ、これからの時期は活動する範囲が広がるから、1度の観察であきらめないで何度も行って見る必要があるかもしれないね。

ところで、伊勢坊くんは、カワセミがどんな巣にすんでいるか知っているかな？カワセミの巣は回答メールの6号でも紹介したように、水辺の土のがけにあるよ。あの長いくちばしで50～100cmの穴をほって、奥にはやわらかい土と魚の骨をしくんだ。この巣穴の中で卵を産んでヒナを育てるんだよ。



坂田さんがカワセミを見たところ

カワセミのダイビング



魚を発見！



一直線に水中へ



見事に魚をキャッチ！



羽を上手につかって水上へ

どうやって魚を食べるのかな？

カワセミはとった魚をどうやって食べているのかな？
実はカワセミは、エサを丸のみにしてしまうんだよ。

でも、カワセミが主食にしている魚には、骨があるよね。骨は消化できないから、カワセミはそれをかたまりにしてはき出すんだ。そのかたまりのことを「ペリット」というよ。

「ペリット」というのは、食べものの消化できなかった部分を胃で丸めてはき出したものことで、丸いかたまりの形をしているよ。

鳥の中では、小動物や魚を丸のみにするもうきん類(特にフクロウ)や、カワセミのほかに、サギ類、モズ、カラスなどが同じように「ペリット」を作るよ。

報告ありがとう

伊勢坊健太くん、1回目の質問ありがとう！坂田悠綺さんがカワセミを見た上柳橋は伊勢坊くんの家からもそんなに遠くないから、行って見て観察の結果を報告してね。
繁殖期を過ぎた9月頃からはカワセミは巣穴を使わずに、木の枝などをねぐらにしているから、河原をじっくり観察すれば、休んでいるカワセミを見られるかもしれないね。

